



伊予三島ロータリークラブ



No.36
令和6.3.8
第3394回

IM報告

渡邊 三知博



「シャインマスカットとリバーシブルマフラー」 坂田 瑞来



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度国際ロータリー会長
Gordon R. McNally (ゴードン R. マッキナリー)

事務局	四国中央市金生町下分789-1	四国中央商工会議所内
	http://www.iyomishima-rc.jp	TEL(0896) 58-3530
	E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp	FAX(0896) 58-6294
例会	金曜日 12:10~13:10	
■会長/渡邊吉和	■幹事/別府 偉	■会報委員長/村上泰史

IM報告

「IM参加について」

河本 健吾

私が伊予三島ロータリークラブに入会させて頂き約1年経過いたしました。今回初めてインターシティミーティングに参加させて頂きましたが、そもそも「IM」とは何をするのか、なんなのかよくわかっていませんでした。

そこで、入会時に頂いていた「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」で確認したところ、近隣クラブが集まって開かれる会合であり、相互の親睦・情報交換を目的とすることだと知りました。

私は、ここ伊予三島ロータリークラブのことしか知らなかったもので、他クラブがどのような活動を行っているのかを知るいい機会になりました。また、今回のテーマであった「リアル・バーチャル、多様な交流で挑戦」と掲げられていたテーマについてですが、コロナ禍による活動の制限がかかる中で各クラブ毎に工夫(パーティーの使用や黙食)をして直接面談のリアルな例会開催を実施したり、zoom利用に挑戦するクラブもあったようです。

しかし、①会員の年齢的な問題によるPC操作や画面越しでの例会への抵抗感 ②会場設備のインターネット環境の問題による未実施 などの要因からzoom例会は定着しなかったのが現実とのことでした。そんな中で、当伊予三島ロータリークラブの皆様はPC操作も問題なく、設備面についても商工会館にインターネット設備が無かったもののタブレットとテザリングすることで問題を解消するなど、2020年5月以降柔軟に対応してきた経緯から、今もリアルとzoomによるハイブリッド開催を行っていることを知ることができました。

近隣各クラブの対応を聞いたり、全国にはzoom例会を基本とする「ロータリーEクラブ」が12クラブ存在し、その活動内容を聞きましたが、自分自身も社内でzoomを利用する中で感じるものとしては、各個人とのコミュニケーションにおいて直接面談のリアルな接点を持つことに勝るものはないと思っています。しかし、多忙な会員の皆様と継続して接点をもつ手段としてzoom利用は有効的な手法であると感じています。そのため、リアル・バーチャルを融合したハイブリッド例会の開催を実施している当クラブにおいては日頃のコミュニケーションを十分に図れ、出張時などにはzoomにより出席でき、多様な対応ができる柔軟さは誇らしいことであると思いました。

まだまだ知らないことが多々あるため、可能な限り様々な活動に参加させていただき、皆様とのコミュニケーションを図りつつ微力ながら活動のお手伝いできればと思います。

先週、2日(土)に開催されました2023-2024年度国際ロータリー第2670地区愛媛第一分区インターシティミーティングについてご報告いたします。

ご存じのとおり、私自身入会してようやく1年が経とうとしているところであり、例会や行事について流れがわかってきたと思っていますが、インターシティミーティングへの参加は今回が初めてであり、どんな内容か?何をしたらいいのか?わからず、しかも、本日の例会で報告を求められていたため、前日の夜までは「ミーティングの途中で寝てしまっは大変だ」と思っていたのですが、情けない話、お酒が入るとそんなことはすっかり忘れて遅くまでお酒を飲んでしまい、土曜の朝、目覚めたときは、「しまった。やらかした。」と思いながら今治へ向け出発しました。

現地へ到着しお昼ご飯の時間になり、豪華なお弁当を目の前にしましたが、報告のプレッシャーからの緊張のせい、前日の飲みすぎのせい、あまり食欲がわかず、やっとの思いでお弁当を食べ終え、ミーティングに臨みました。

時間稼ぎの前置きが長くなりましたが、今回は、今治ロータリークラブがホストとなり、吉岡宏美ガバナーや徳永市長(今治)をお迎えして、「地域に希望を生みだそう」~リアル・バーチャル、多様な交流で挑戦~をテーマに9クラブ、約200名のロータリアンが今治国際ホテルに集まり、開催されました。また、同時にzoomを使ったハイブリッド開催も実施されていました。

何はともあれ来賓の徳永今治市長の熱のこもった挨拶がすごかったです。

ミーティングは、2部構成となっており、地域に希望を生み出すには地域の方々にロータリーの活動を知ってもらい、地域の方々とともに活動することが必要である。そのためには今後コロナ禍のような状況に陥ってもロータリーの活動を継続するためにはどうすればいいかについて、

○1部では久米ガバナー補佐から、「コロナ期間中の他クラブの例会や活動の取組などを互いに知ること、クラブの危機管理について考えることや、バーチャルを取り入れることでの活動の広がりや考えをみよう」とのIM趣旨説明があり、今治クラブによるプレゼンテーションが行われ、5つのセッションに分けて発表がありました。

- ・まず、SESSION1では、IMについて、再確認したあと、
- ・次にSESSION2では、RI会長の言葉を探してみようということで、RIのwebページなどが紹介されました。
- ・SESSION3では、コロナ禍での活動を振り返り、SESSION4では、ロータリーとオンラインを切り口にロータリーEクラブについて、紹介がありました。
- ・最後にSESSION5では、第2670地区ガバナー事務所YouTubeチャンネルやクラブ検索アプリなどの紹介でプレゼンテーションを終えました。

○2部は、コロナ期間中についての事前アンケート結果をもとに各クラブの発表や質疑応答が行われ、コロナ期間中の活動状況や分区、地区、RIに対する要望事項などを情報共有する内容となっていました。

- ・他のクラブからは、ロータリークラブは、その特性上、オンライン開催が難しい。
- ・コロナ禍で、懇親会のような親睦の機会がなくなり、新入会員が十分なじめないうちに退会してしまったなどの意見も出ていました。

ミーティングが終了したのち、今治クラブに所属する会社の後輩と、今治焼き鳥を食べながら、今回のミーティングの準備などについての苦労話を聞きましたが、性懲りもなく飲みすぎたので、ほとんど覚えていません。

インターシティミーティング自体の報告より、自分自身の報告のほうが長くなってしまいましたがこれにて報告を終了いたします。ご清聴ありがとうございました



第3394回

例会記録

令和6年3月8日

開会 渡邊吉和 会長

出席報告

出席会員 (35名中)	27名
出席免除会員	1名
出席率	79.41%

会長の時間

○結婚記念日御祝
鈴木和範御夫妻 (12年)

○出席表彰

外山英敏君 (38年)、篠原聡一君 (19年)、
渡邊吉和君 (7年)、鈴木和範君 (4年)
河本健吾君 (1年)

幹事報告

・例会変更通知

・地区青少年奉仕委員会～

第46回少年少女キャンプのご案内

日時 4月2日(火)～5日(金)

場所 神戸YMCA余島少年キャンプ場
(香川県小豆島)

対象 2023年度の小学1年生～高校3年生
(定員40名)

参加費 46,200円

申込締切 3月24日(日)

・例会変更通知

(新居浜南)

- ① 4月 2日(火) 新居浜 RC との合同夜間例会
- ② 4月 9日(火) 夕刻例会
- ③ 4月16日(火) 夕刻例会

例会行事

IM報告

ニコニコ紹介

結婚記念祝～鈴木和範君

出席表彰～外山英敏君、篠原聡一君、渡邊吉和君、
鈴木和範君、河本健吾君

3月22日プログラム予定

地区研修・協議会報告
(定例理事会)